

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1182 枚方市御殿山町15-9 前田茂夫 TEL072-890-1480

平成12年8月(2000年) No. 416

<淡路島撮影会作品コンテスト> 最優秀賞は合原会長作品に

去る5月6～7日の両日行われた淡路島撮影会には、1泊2日組15名と日帰り組2名の17名の参加がありましたが、その期待の作品のコンテストが7月例会で行われました。

出品は11本あり、例会出席者25名による公開審査が行われ、次の方々が入賞、表彰されました。審査方法は各人が3作品の順位をつけて選び、1位3票、2位2票、3位1票として評価されたものです。

最優秀賞	合原一夫さん	あわじ来て	14分00秒	32票
優秀賞	有村博さん	ジャパンフローラ2000	7分10秒	20票
入賞	江村一郎さん	蓮花寺	4分08秒	18票
入選	安居利次さん	大阪花博と比べて	7分15秒	13票
入選	安居良枝さん	花博で思うこと	6分35秒	13票
努力賞	森、西村、松本、吉岡、宮崎、勝の皆さん			

当初期待してロケハンした淡路の花博が今一つでしたので、急遽島内のめばしい場所を探したのですが、結局つながらなかったようです。しかし皆さん精一杯の編集をして頂き出品本数も多く、主催者として満足すべきものと、感謝の言葉が関世話役からありました。

東京アマチュア映像祭全国ビデオコンテストに入賞

下記の方々が難関を乗り越えて全国ビデオコンテストに入賞されましたので、お知らせします。おめでとうございます。

● 優秀賞	雑草都市	合原一夫さん	8分
● 入賞	冬・高野山	前田茂夫さん	9分

8月例会と作品研究会のお知らせ

8月例会は26日(第4土曜日)午後6時より、作品研究会は午後1時30分より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。今月の研究会は「タイトル」についての合原会長のお話と、「空と緑」をテーマにした作品を皆さんに制作してもらって持参してください。今までに撮り貯めた中から編集するもよし、新たに夏の青空と緑を撮影して、大勢の皆さんの参加を待っています

7月研究会のレポート

7月作品研究会は、特にテーマを決めずに自由作品を出し合って勉強会としました。出席者はこのところ多く15名を数え、作品も9本が提供されて、1本1本時間をかけて感想や気の付いたところ、アドバイス等、研究会ならではの雰囲気のもとに会を進行しました。11月には、記念すべき第40回映像フェスティバルが控えています。映像フェスティバル作品締切りは9月例会までの作品です。どうぞ、こうした作品研究会に、出品したい方は、作品の途中までの粗編集でもよいですから、どしどし持ってきていただいて、少しでも良い作品が出来ますよう研究会の場を活用して下さい。8月の作品研究会は、メインテーマは「空と緑」ですが、フェスティバル出品予定作品その他、例会より時間が十分にとれますので、どうぞ作品をご持参ください。出席者15名、作品9本です。

■上映作品

①長居公園にて 増池 茂さん 6分15秒

長居公園は広大な敷地に運動施設をはじめ、池や緑もタツプリあって、いろいろな人が楽しんでおられるようです。それだけにあれこれ6分程度の作品に詰め込むと「ごもくめし」のようになってねらいがはっきりしません。いかにテーマを絞って表現するかの課題を提供した作品でした。

②エチュード「らかん」 河合源七郎さん 4分0秒

エチュードとは「習作」といった意味だそうです。先月の研究会で関さんよりMDによる音楽の編集方法について教えていただいたので、早速CDよりMDへの編集練習をしたという作品、という作者のコメントがありました。エチュード1はモーツァルトのピアノ曲、エチュード2は三味線の響きで構成されました。映像は淡路撮影会のとときの「羅漢」さんで、しばし映像とBGMについて話題がつきませんでした。しかし河合さんにとっては、BGMの編集という新しい分野に挑戦された意義は大きかったのではないのでしょうか。

③「追い山」の改作について 西村 光雄さん 3分30秒

例会で出品された博多山笠の追い山の作品について、いろいろご意見を伺ったので、トップとラストの部分を手直ししてみた、ということでその部分のみの上映でした。この改作についても再びいろいろ意見が出され、再手直しされるそうです。特にラストの民謡のBGMはそぐわないのではという印象を受けました。

④あれから30年 江村 一郎さん 5分45秒

⑤あれから30年 江村 一郎さん 6分40秒

前者は5月作品研究会で評価の高かった作品。それを多少手直しして後者を6月例会で上映したところ、逆に前作より悪くなった、と評価を落としてしまし、作者もいささかがっかりきて、たいして手直ししていなしのにどうして評価を落としてしまったのか、アドバイスが欲しいと、本人は勤務で欠席のまま安居世話役に両作品を預けられたもの。1分程長くなっていますが、万博時の映像をその分多く取り入れられており、その分かえて作品のねらいがあいまいになったのではないかと、という気がしました。やはり現在の万博記念公園と、そこに残された思い出のものを残照とした視点でとらえられて再構成されたらいい作品になると思います。

⑥あれから30年 合原 一夫さん 7分45秒

5月作品研究会で、江村作品の後に上映し、江村作品の強い印象の後ただただに、いたく評価の悪かった作品でしたので、大幅に構成を練り直し、撮り足しとBGMの入れ替え及びナレーションで現状と当時を回想した作品に仕上げられました。初めて見られた方には判りよかったです。

- ⑦捨墓山 合原 一夫さん 9分0秒
郷里の小高い丘に、今や廃墓となって樹木の大きな根に巻かれたり、倒れたりした不気味な山があり、以前フィルム時代にドラマ仕立てで作った作品を持参されたもの。実は希望者による撮影会のテーマにならないかと参考として上映されたが、気味が悪いので賛同者は出ませんでした。
- ⑧飛鳥の里散策 奥 宏さん 6分30秒
以前、飛鳥逍遙というタイトルで出品されたが、「逍遙」という題名に異論が出て、今度は素直に“散策”とされ、再度持参されたもの。手持ちのカットが多いので、ああいう「石」が主役の舞台では、やはり三脚は必需品のようです。今秋、彼岸花の季節に再度撮り直したいとのこと。
- ⑨鳥たちの詩 有村 博さん 3分14秒
Hi8で撮った過去の映像をDVに変換し、再編集されたもの。画面もなかなか綺麗で、DVにして編集したらHi8やS-VHSの作品もそれなりによみがえってくれる、という見本みたいな作品でした。

7月例会のレポート

研究会に引き続いて月例会をいつもの例会場で開催しました。撮影会作品の互選、審査のあと、午後8時頃から3本の作品を上映しました。司会、関さん、書記、有村さん、デッキ係に渡辺さん、奥さん、受付兼証明係を増池さん、安居 良枝さんの担当で進行しました。

◆出席者：森、奥、関、安居利、安居良、江村、花岡、森田、岡本、河合、上総、有村、合原、金子、渡辺、松本、今井、増池、西村、前田、江藤、玉井、吉岡、勝、宮崎の皆さん（敬称略） 25名と作品本数3本

◆上映作品：（今月の記録と講評担当：有村 博）

1. 赤目溪谷を訪ねて 増池 茂さん 6分00秒

夏の溪谷を撮影に一人で出掛けられたそうです。全体の半分位まで入ったの撮影のようですが、中々しっかりした構図で滝や水の流れを撮っておられます。自然の変化があるのでそれなりに画面も変化してよかったのですが、ひどい雨のカットが一つだけですので、ティルトダウンするカット共々外した方が良く、というアドバイスがありました。「水の流れのように」という歌がある位ですから、出来れば行った順番につなぐのではなく、上流から流れ下って行く溪流を滝を交えながら、人生にでも例えて表現してみたら如何でしょう。

2. ヒンズー教寺院にて 勝 成忠さん 5分30秒

この3月にネパールに行かれて取材された作品だそうです。川添いの寺の境内で行なわれた、人間の火葬シーンが克明に描写されていました。最後は薪の燃えかす共々川に流す所で終わるのですが、その間の炎の出ている箇所が省かれていて、中抜きのように思えました。あまりに残酷と思われて省略されたのかも知れません。皆さん見おわってホッと一息ついたのでした。現地では日常茶飯事でしょうが、日本では絶対お目にかかれないものだけに、どの程度見せればいいのかというのが難しいと思いました。勿論テレビでは倫理規定があってダメでしょうし、アマチュア映像の限界を何処におくか論議しても良い作品と思います。

3. 城壁に囲まれた町オビドス 合原 一夫さん 10分00秒

ポルトガルは昔から日本と深い関係のある国のようですが、現地を見せてもらったのは初めてです。中世の城壁に周囲を取り巻かれた中での人々の生活を克明に記録しておられます。織物を織る男、刺繍をする女に語りかけながらの撮影など興味深く見せて頂きました。スチール写真の同好ツ

ァーで、多少の時間のゆとりがあり撮影出来たそうです。お見事な作品でした。

以上で会員さんの作品上映を終り、何時ものように喫茶店と居酒屋に別れて2次会を楽しみました。

■大阪アマ連映像祭は10月29日(日)13時より、と内定

このほど大阪中央図書館との共催による大阪アマチュア映像連盟映像祭は、10月29日(日曜日)に内定したと、図書館側より連絡がありました。連盟としては、この線に沿って準備を始めます。


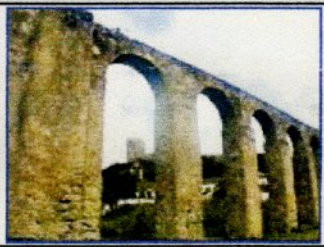
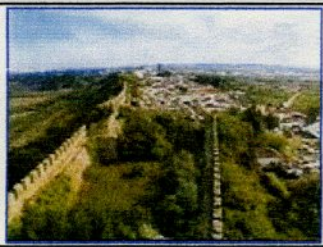
■映像発表会会場確保に苦勞・難波市民学習センターにて11月25日(土曜日)に

OMC映像フェスティバル会場を11月26日(日)に予定していましたが申込みのくじ運が悪く、抽選にはずれてしまいました。前後の土曜日もすぐに埋まってしまい途方にくれましたが、他の会場を探し大阪ビデオクラブ(OVC・有村博代表)の例会場である難波市民学習センター講堂が前日の第4土曜日のみ空いていることが判り一応確保しました。この反動で11月例会と研究会は第3土曜日になりますのでお伝えしておきます。

■OMCのホームページ(URL)は <http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>です。Yahoo、infoseek、gooなどの検索エンジンで”ビデオスケッチ”と入力すると出ます。またYahooで”ビデオ”と入力し→”ビデオ>視覚芸術”をクリックしても出ます。現在で1日のアクセス数は約40前後です。プロバイダーのサーバ容量の都合で、あまり多くの作品を載せられません。毎月1本の例会作品をアップロードしています。今月は特別に、例会作品で合原さんの「城壁に囲まれた町オビドス」と有村さんの撮影会作品「ジャパンフローラ2000」の2本を載せました。ネットに載せるのは長編は不向きです。出来れば5~6分以内の短編物、最長でも10分以内です。メールアドレスをお持ちの方は広報担当(前田)までご連絡ください。例会ニュースが出来次第メールでお知らせしますので、郵送分より早くご覧になれます。現在13名の会員さんがメールアドレスを持っています。

VIDEO 7月のインターネット例会作品介绍

「城壁に囲まれた町・オビドス」合原一夫作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	1810KB 9分54秒
1			

VIDEO 7月のインターネット撮影会作品介绍

「ジャパンフローラ2000」有村博作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	1319KB 7分11秒
1	